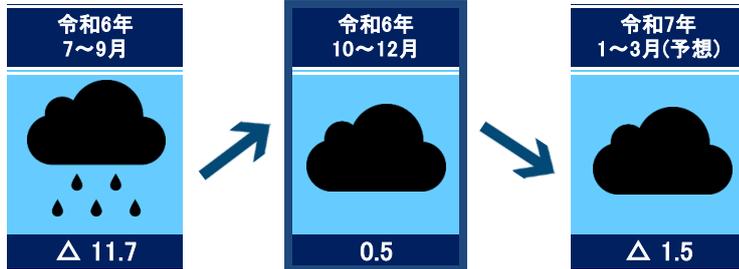


知多半島景気動向調査結果

令和6年 10~12月 業況見通し → 令和7年 1~3月 業況予想

～昨今の物価上昇や円安による仕入・供給問題～



知多半島の令和6年10~12月の業況判断見通しD.I.は0.5と前四半期比12.2ポイント大幅改善。「人件費は増加するが、従業員モチベーションのため積極投資している」(建設業)等前向きな発言もみられた。しかし令和7年1~3月の業況判断D.I.は△1.5ポイントと悪化予想。「物価が上昇しているが、価格交渉がうまくいかず大変厳しい状況」(卸・小売業)、「顧客側の計画の遅れに伴い、受注・納品が大幅に遅れ売上が減少した」(製造業)と見通しでは、先行きを不安視する意見が多くあった。人手不足感が強まる中、販売価格を引き上げる姿勢が目立つが、経費増加に比べ、企業利益は減少傾向にあることが分かった。

※知多信用金庫のお客さまにご協力頂いた
下記アンケートの集計結果を掲載しています。

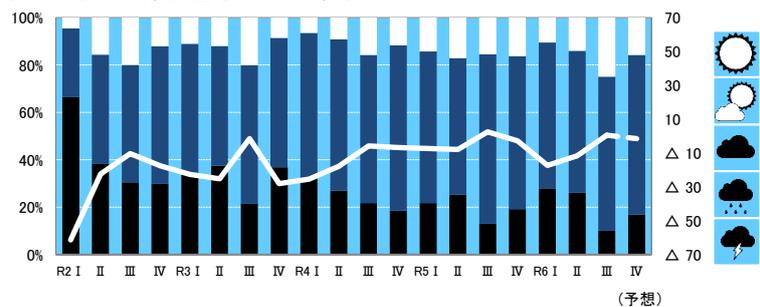
- ◆実施期間 R6.12.2~12.20
- ◆実施方法 紙面又は口頭
- ◆アンケート実施先数 202先
- ◆回答数 199(回答率98.5%)
- ◆実施事業所の業種構成割合

業種	件数	割合
建設	46	23.1%
不動産	9	4.5%
飲食・宿泊	17	8.5%
製造	51	25.6%
運輸	8	4.0%
卸・小売	40	20.1%
サービス	20	10.1%
その他・不明	8	4.0%
合計	199	100.0%

令和7年1~3月 知多半島の業況判断予想

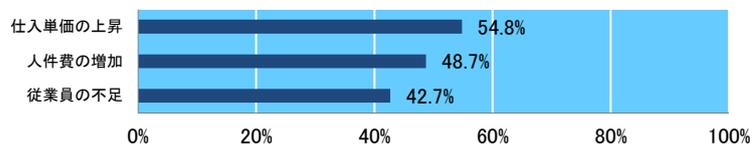


◇業況判断見通しD.I.の推移

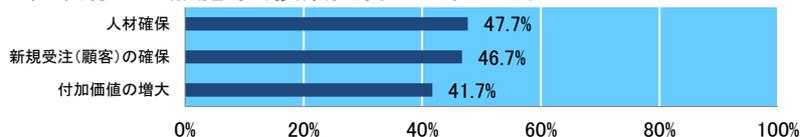


各種D. I.	前期 今期 来期							
	R5 I	II	III	IV	R6 I	II	III	IV
売上	△ 1.5	△ 2.5	9.5	△ 2.4	△ 6.7	△ 1.0	10.6	△ 2.0
収益	△ 16.1	△ 16.8	△ 6.0	△ 12.9	△ 16.8	△ 13.8	0.0	△ 8.0
販売単価	11.7	15.3	13.9	11.5	9.1	8.7	12.6	9.5
仕入単価	△ 59.5	△ 52.0	△ 48.8	△ 47.4	△ 52.4	△ 51.5	△ 53.3	△ 43.2
在庫	△ 1.5	△ 3.5	△ 1.5	△ 2.9	△ 1.4	△ 4.1	0.5	3.0
資金繰り	△ 8.3	△ 10.4	△ 12.9	△ 6.7	△ 10.1	△ 5.6	△ 9.0	△ 8.0

◇経営上の問題点(複数回答/上位3つ)



◇今期の重点施策(複数回答/上位3つ)



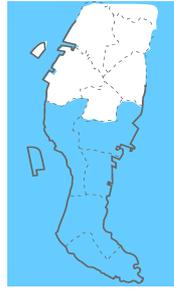
業況判断D.I.を示すお天気マークの見方



※(業況判断)D.I. 業況等が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を引いたもの。

◇知多半島北部

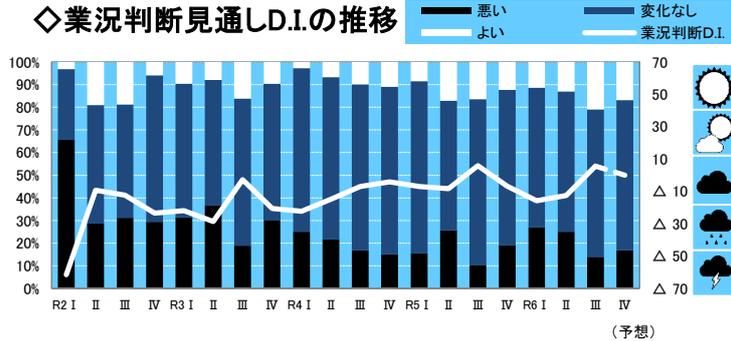
名古屋市南区、
緑区、東海市、
大府市、知多市、
東浦町、阿久比町



回答数 72
製造業 23.6%
非製造業 76.4%



◇業況判断見通しD.I.の推移



業況判断見通しD.I.は5.6と前四半期比18.1ポイント大幅改善。「今後の景気の状態は良い」(不動産業)、「段々良い方向に向かうと思われる」(建設業)と見通しが期待できる事業者の声があった。一方で「先が見えない」(製造業)、「経費の増加で経常利益率の伸びがイマイチ」(卸・小売業)と経費や仕入の面で費用の増加を感じている事業者もみられた。業況判断予想D.I.は0.0と△5.6ポイント悪化予想。

◇知多半島中部

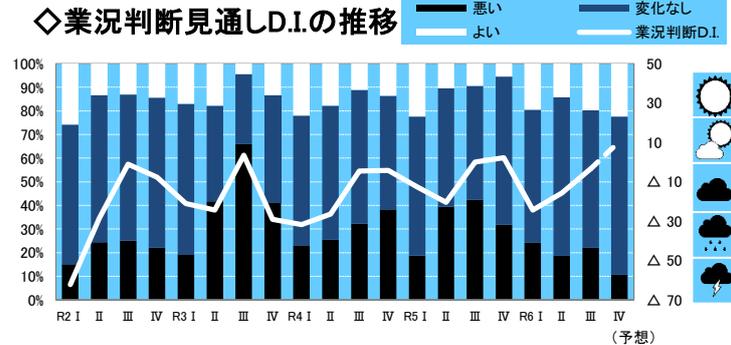
常滑市、半田市



回答数 86
製造業 31.4%
非製造業 68.6%



◇業況判断見通しD.I.の推移



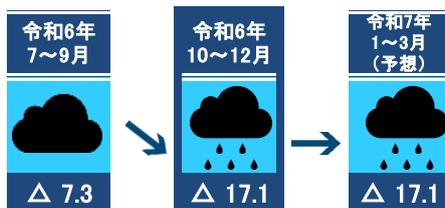
業況判断見通しD.I.は△3.5と前四半期比12.2ポイント改善。また業況判断予想D.I.は10.5と14.0ポイント改善予想。しかしながら「忙しい時とそうでない時があり、総合的に変化なしの状況です」(卸・小売業)、「全体的に工事が少なくなってきているので先行きが不安です」(製造業)と依然として先行きに対する不安の声が多くみられた。

◇知多半島南部

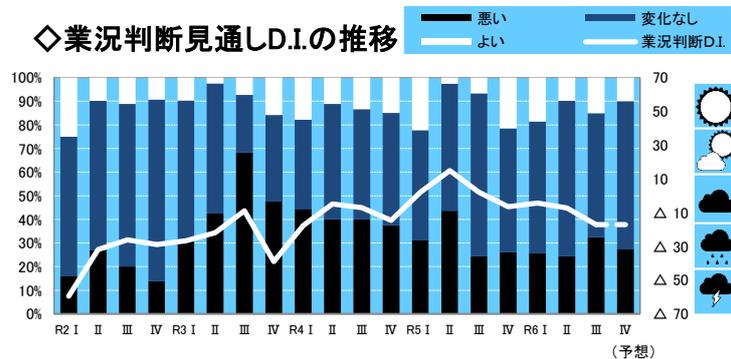
武豊町、美浜町、
南知多町



回答数 41
製造業 29.3%
非製造業 70.7%

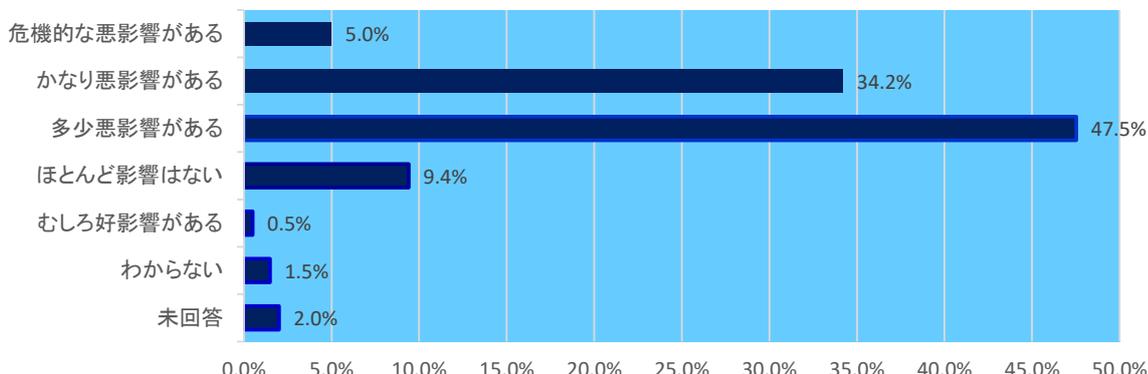


◇業況判断見通しD.I.の推移



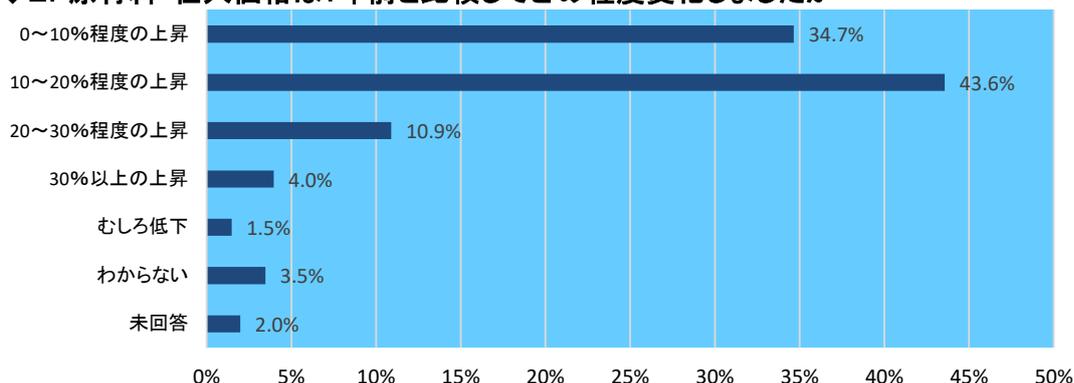
業況判断見通しD.I.は△17.1と前四半期比9.8ポイント悪化。「顧客の業績は回復しているが、取引業者の仕入価格上昇には厳しいため、値上げができない」(製造業)、「修繕が必要であり、非常に良くない」(飲食・宿泊)と販売単価の見直しや経費上昇等に苦しむ声があり、業況判断D.I.は唯一悪化となった。業況判断予想D.I.は△17.1と変化なしであった。

◆1.最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか



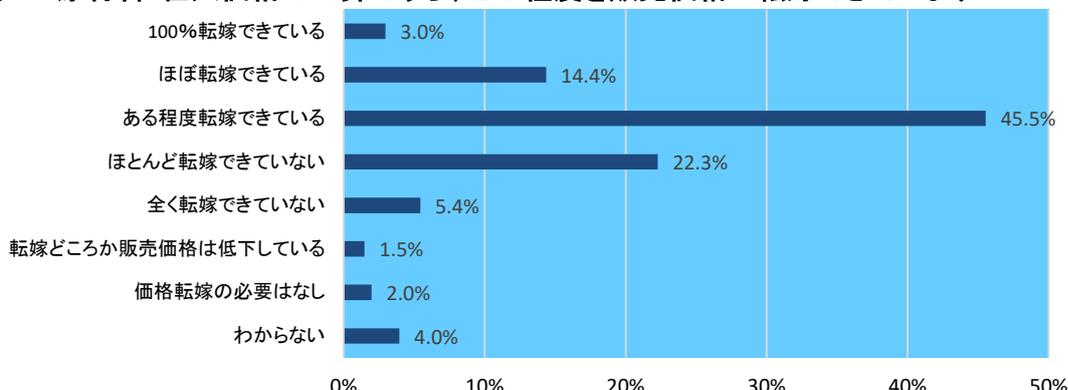
原材料・仕入価格の上昇による収益への影響については、「悪影響が発生している」と回答した事業者の割合は、合計で86.7%とほとんどの事業者が悪影響を受けていることが分かった。事業別で見ると運輸業は回答した全ての事業者が悪影響を受けていると回答した。他の業種についても、飲食・宿泊業が94.1%、製造業が92.2%であり、サービス業、建設業、卸・小売業についても80%以上であったことから、多くの業種で悪影響を受けていることが分かった。

◆2. 原材料・仕入価格は1年前と比較してどの程度変化しましたか



原材料・仕入価格の1年前との変化については、9割以上の事業者が「価格が上昇している」と回答した。また「10%を超えて価格が上昇している」と回答した事業者は、運輸業が87.5%、建設業が65.2%、飲食・宿泊業と製造業が64.7%であった。飲食・宿泊業のうち17.6%の事業者は「30%を超えて価格が上昇している」と回答しており、原材料・仕入価格の上昇が全業種に広がっている中で、飲食・宿泊業において最も上昇が顕著であることが分かった。

◆3. 原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか



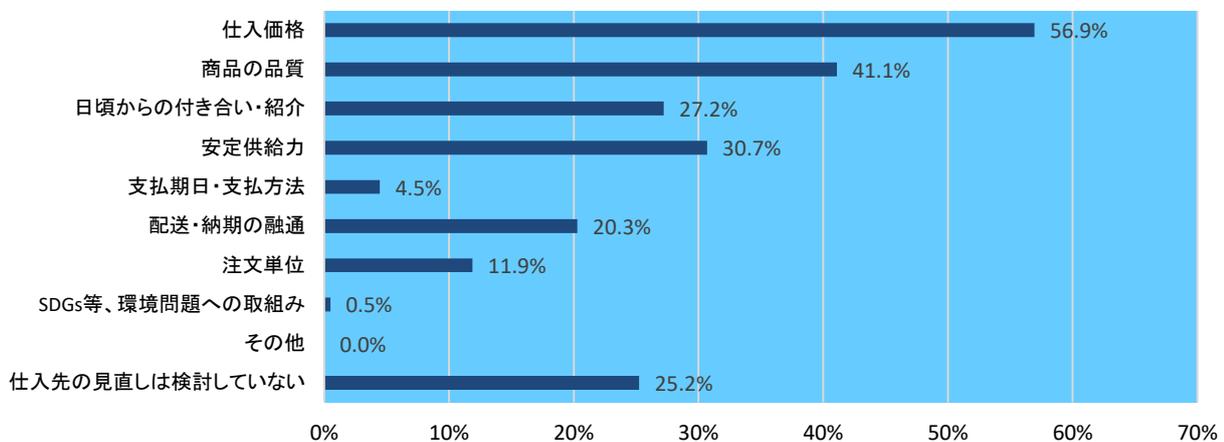
原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できているかについて、6割以上の事業者が「価格転嫁ができている」と回答した。「ほとんど転嫁できていない・全く転嫁できていない・転嫁どころか販売価格は低下している」と回答した事業者は、飲食・宿泊業が70.6%、運輸業が62.5%であり、業種別で大きく差が出る結果となった。

◆4.原材料・仕入については、価格の上昇のほか、調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれています。各種資材や製商品の量や質を確保するために現在行っている対策は何ですか
(最大3つ回答可)



事業者が各種資材や製商品の量や質を確保するために現在行っている対策については「必要量・質が確保できている(問題はない)」が35.6%であった。業種別では、製造業が54.9%と最も高い結果となった。現在行っている対策としては「仕入先の変更・多角化」が24.3%、代替商品の調達(同等品質)」が23.3%となった。一方で「特に対応は行っていない」が23.3%となっており、7割超の事業者で何らかの対策をして、収益性の向上に取り組んでいることが分かった。

◆5.仕入の困難化に伴い、仕入先を見直す動きも出ています。仕入先の見直し等を検討するにあたって重視する点がありますか
(最大3つ回答可)



仕入先の見直し等を検討するにあたって重視する点については、「仕入価格」と回答した事業者が56.9%と最も多く、次いで「商品の品質」が41.1%、「安定供給力」が30.7%であった。業種別で見ると「仕入価格」と回答したのは、製造業が68.6%と最も割合が高く、次いで卸・小売業が62.5%、建設業が60.9%という結果となった。製造業では◆4.で「必要量・質が確保できている(問題はない)」の割合が最も高かったが、◆5.において現状の「仕入価格」を圧縮したいと考えている事業者が多いことが分かった。